

川越市・川島町

令和5年（1月～12月）の火災発生状況について

川越地区消防局管内では**97件**の火災が発生しました。
主な出火原因についてまとめましたのでお知らせします。

1 主な出火原因

1位 たばこ 17件（前年比較+ 1件）

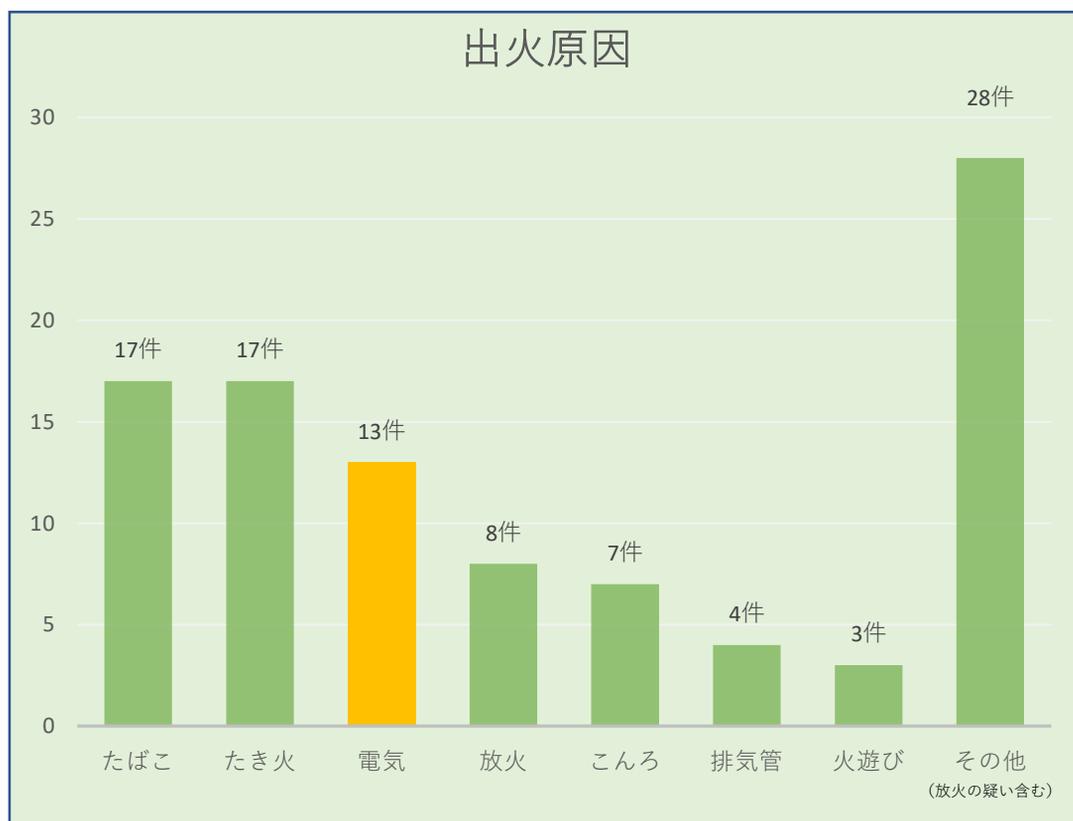
1位 たき火 17件（前年比較+ 15件）

3位 電気※1 13件（前年比較 同件数）

4位 放火 8件（前年比較- 19件）

5位 こんろ 7件（前年比較+ 3件）

※1 電気とは電気コード、電気配線、リチウムイオン電池、
電気プラグ等



2 火災の事例及び対策

たばこ火災の事例



現場の灰皿にはあふれるほどの吸い殻がたまっていました。火種が消えたと思いきその場を離れてから数分後に出火した事例です。

たばこ火災の特徴として、炎が発生しない燃焼（無炎燃焼）が継続したのちしばらく経ってから付近の可燃物に燃え移り発火します。

外出前に吸ったたばこ、寝たばこで布団やカーペットに落とした吸い殻なども原因になります。

もみ消すだけは火種が完全に消えていない場合があります。必ず灰皿に水を入れ完全に消えた状態にしてから捨てるように心がけてください。

たき火の事例



- ・畑で伐採くずを燃やしていたら、枯草に燃え移ってしまった
- ・枯草を集めて焼却していたら、ビニールハウスに燃え移ってしまった
- ・ごみを焼却中、炎が強くなり建物が焼損した

※なお農業、林業、漁業を営むためにやむを得ないものとして行う場合等の例外を除き、野焼き、家庭ごみの焼却は原則禁止されていますのでご注意ください。

たき火は風の影響により思っていたより燃え広がってしまった、近くの可燃物に燃え移って拡大したケースが多いです。気象状況及び周囲の状況を確認してから実施しましょう。

電気火災の事例

～プラグ部分がトラッキングにより出火しました～



～リチウムイオン電池～



真夏の日中、車内に置かれていた電気機器に内蔵されているリチウムイオン電池が発火しました。

電気については使用方法の誤り、手入れ及び管理不全による火災が多く発生しています。電気製品などは、取扱説明書をよく読み、正しく使用しましょう。また、コンセント周辺及び配線をこまめにチェックし、ほこりがたまっていないか、配線が押し潰されていないかなどの管理を忘れずに。また、リチウムイオン電池に起因する火災も増えています。過充電、落下の衝撃、熱による高温、水没等に注意してください。

3 消防局からのお願い

令和6年に入ってから、本組合管内では例年と比較すると火災が多く発生しています。

火災はちょっとした不注意や偶然が重なると季節問わず発生する恐れがあります。火の取り扱いには十分注意してください。

住宅用火災警報器の設置、点検も忘れずによりしくお願いいたします。大切な命、財産を守るために日頃から火災予防に心がけましょう。

「守りたい 未来があるから 火の用心」

2024年度 全国統一防火標語

消防局予防課 火災調査担当

049-222-0744